

バイオディーゼル燃料 活用の方向性を検討

問 使用済み食用油から精製されるバイオディーゼル燃料の、



資源の有効利用で環境に優しく
～再生燃料走行実験

製造事業化調査の成果と今後の予定は。

答 平成16年度に実施した調査では、実車走行実験で燃費と馬力が軽油と同等で、年間二トンの二酸化炭素の削減が可能だ。資源の有効利用や地球温暖化防止等の観点から有効な手段ではあるが、回収体制や車両の整備等市の負担も生じるため、費用対効果を含め今後の方向性を検討したい。

事業系ごみの減量化

民間ルート活用を検討

問 事業系焼却ごみの増加が目立つが、排出調査の分析結果は。

答 平成16年度に、十一業種三百四十事業所を対象に行った

結果、空き瓶とペットボトルの再利用率が三〇%未満であることが分かった。このため、資源化ルートの確立を目的に事業者が共同で回収・資源化調査を実施しており、その結果を踏まえ、民間ルートを活用した資源化やごみ減量を推進したい。

公園での雨水貯留

試行に向けて

問 西部新拠点地区の区画整

理事業で、雨水対策として公園の地盤を下げて雨水を貯留する方法の検討を。

答 同地区内に整備予定の街区公園の一部地盤を約三十センチ下げること、一時的に一カ所当たり約四百立方メートル程度の雨水を貯留することが可能となり、低コストで合理的な方法と考える。今後、公園管理上の課題の整理や、地元との調整を行い、試験的に実施したい。

福祉・教育



学校施設の耐震化

問 学校施設の耐震診断が進んでいないが、今後の予定は。

答 大規模災害時に地域住民の避難場所となる小中学校の体育館を優先して行い、合併地域を除いて平成16年度に完了している。御津・灘崎地域も、18年度中には終了予定であり、今後、施設の規模や老朽度等を総合的に勘案し、改築や耐震改修を進めたい。校舎については、対象施設が多く多額の費用を要するた

岡山中央中学校の整備計画

問 丸の内中学校と旭中学校が統合して平成11年に開校した

め、効率的に改修の優先度を定めるための簡易診断を検討している。



解体予定の旧市立商業高校校舎

岡山中央中学校の、今後の整備計画は。

答 17年度は旧市立商業高校校舎等の解体撤去工事の設計を行い、18年度には既存校舎の撤去工事を行った後、埋蔵文化財調査と新体育館の設計を行う。19年度以降に文化財調査終了後、新体育館を建設し、その後、旧体育館の撤去工事を行う計画だ。

高齢者虐待防止法

施行に向けて

問 平成18年4月の高齢者虐待防止法施行に向け 本市の運用体制は 市民への啓発・広報と、警察との協力体制の協議は。

答 相談窓口を地域包括支援センターに設置することを含め体制づくりの検討を進めている。虐待発見時の通報義務など虐待防止について、広報紙等を通じて市民に周知するとともに、今後、警察との協力体制に必要な協議を十分行いたい。

会派役員の異動

新風会	
(新) 相談役	垣下 文正
団 長	土肥 啓利
(旧) 相談役	土肥 啓利
団 長	柴田 健二
政隆会	
(新) 顧問	宮川 日吉
顧問	宮武 博

贈らない！求めない！
受け取らない！

政治家は公職選挙法により、選挙区内での寄附行為が禁止されています。このため、市議会議員はお中元・お歳暮などを贈ることや、地域のお祭りなどの行事に、差し入れや祝儀を出すことはできません。ご理解とご協力をお願いします。

委員会の異動

文教委員会	
(新)	三宅 英夫
(新)	近藤 昭
行政問題等調査特別委員会	
(新)	近藤 昭
(新)	三宅 英夫
社会システム・スポーツ振興調査特別委員会	
(新)	三宅 英夫

次回本会議のお知らせ

2月定例会は2月23日(木)から3月20日(月)まで開催の予定です。

編集後記

11月定例会では、新市長就任後初の質問戦が行われ、市長の政治姿勢をはじめ、合併協議会の設置、指定管理者の指定についてなど市政の重要課題について論戦が繰り広げられました。市議会だより第四十号ではこれらの内容についてお伝えします。